平成３０年５月２８日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
企業との意見交換

１　趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の今後の対応に関し，企業との意見交換を開催。

２　企業ヒアリング出席者

（１）政府側

タスクフォース議長	西村　康稔	内閣官房副長官
同副議長	兼原　信克	内閣官房副長官補
	平井　裕秀	内閣官房内閣審議官 （内閣官房副長官補付）
	山野内　勘二	外務省経済局長
	川村　博司	外務省欧州局審議官

（２）企業側

電気通信，食品，医薬品，自動車，鉄道，原子力，電気・電子，金融，情報分野の企業関係者

３　概要

（１）５月２８日，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースによる取組みの一つとして，議長である西村内閣官房副長官の下，企業との意見交換を，各業界分野の企業関係者の出席を得て開催した。

（２）同会合では，各出席企業から，英国のＥＵ離脱が各業界や各企業に及ぼす影響と，それへの対応を中心に説明があった。

（３）同会合において西村内閣官房副長官から，概要以下を述べた。

英国は２０１９年３月２９日に離脱することとされているところ，英国のＥＵ離脱まで残り１０か月となり，また，英ＥＵ間の離脱協定案の妥結までに残された期間は約５か月といわれている。①英ＥＵ間の交渉が透明性に配慮しつつ進められていること，②英国のＥＵ離脱後に「移行期間」を設置し，その期間中，基本的に現状を維持する方向で協議が行われることについては評価する。我が国としては，引き続き状況を注視していく。政府では，外務省を中心として，英国のＥＵ離脱について，ＥＵ及び英国と協議してきている。政府としては，ＥＵ及び英国に対し，日系企業の要望に最大限耳を傾け，円滑な移行，またビジネスへの影響を最小限にするよう働きかけを行っていく。

（了）